

平成31年度(令和元年度)

まちづくり推進部 大森地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 大森地域局
局長名	佐藤 育三

1. 局の使命(ありたい姿)

多様な地域資源を活用し、地域住民との協働により「人・心・ふれあう郷土(まち)おおもり」を目指して、「人にやさしい特色ある地域づくり」を推進します。

2. 局の抱える課題(現状)

- (1)地域資源である大森リゾート村テニスコート増設に向け、着実に事業を行う。
- (2)若者を中心とした自主活動について、何を求めているのか、行政でどのような支援が出来るのか検討する。
- (3)「子育て支援ネットワーク委員会」は関係機関の連携がうまく機能しているので、引続き継続した取り組みが必要。

3. 今年度の『スローガン』

地域の声にスピード感をもって対応し、信頼される地域局になろう！

4. 今年度の方針

- (1)市民から信頼され、元気で活力ある地域づくり
- (2)安全・安心な地域づくり

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進
	取組内容	①地域資源である「大森リゾート村」の魅力アップ。 ⇒関係団体の声を反映させながらテニスコート拡充事業を着実に進める。 ②若者を中心とした自主的活動を支援し、活力ある地域づくりを目指す。
(2)	実現したい成果	市民協働による地域見守りネットワークの構築
	取組内容	①「おおもり支えあい協議体」「大森地域子育てネットワーク委員会」「地区交流センター」等との連携強化。 ⇒未然防止・早期発見・早期対応を図るべく、地域全体で関係機関連携のもと、それぞれの機能と役割を発揮しながら支援に取り組む。
(3)	実現したい成果	明るく元気なあいさつの励行
	取組内容	①市民の皆様が親しまれ、元気で信頼される地域局を目指すため、元気な対応が市民サービスの基本であることを認識し共有する。 ⇒来庁される市民の皆様には勿論の事、まずは職員同士が「明るく元気なあいさつ」を励行し、元気な地域局体制を構築する必要がある。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1) 地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進

⇒関係団体の声を反映させながら、テニスコート拡充事業を着実に進める。

- ・関係団体には、4月に事業を実施する旨の報告と協力を依頼し、9月の設計業者との打合せでは、テニスコートを利用する際や大会を運営する場合の要望等を出来る範囲で設計に反映するよう業者に依頼した。
- ・プール等解体工事を含め、施工業者には現場内だけでなく、公道においても安全性を重視するようお願いするとともに、地域住民と施設利用者には、チラシと看板で注意喚起を呼びかけ、事故の無いよう努めた。

(2) 市民協働による地域見守りネットワークの構築

・「おおもり支えあい協議体」についてはこれまで3回の協議の開催、「子育て支援ネットワーク委員会」については2回協議された他に案件によっては随時、関係者のみでの検討会を設けるなど、それぞれの役割と機能を発揮し、早期発見、早期対応に結びつけている。

(3) 明るく元気なあいさつの励行

- ・自分から「あいさつ」するのではなく、相手がするのを待っている職員、声が低く相手に伝わらない職員も見受けられる。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1) 地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進

・プール等解体後の地盤の状態により、テニスコート造成費が変わることから、解体施工業者とテニスコート設計業者との打合せの場を設け、解体後から造成までの半年間、現場が安全に保たれ、造成工事がスムーズに進捗出来るようそれぞれの工事が安価で効率的な施工方法の調整を図っていく。

・子供の広場には、障がい者の方も利用できるよう道路からスロープが設置されているが、現在の基準では傾斜がきついことから、緩やかなスロープとし、また、樹木の生育により根が張り出して危険な箇所も見受けられるので、残土等を利用して、安全性を確保していく。

(2) 市民協働による地域見守りネットワークの構築

・今後、認知症への理解を深めるための「徘徊見守り訓練」、降雪期を前に「高齢者一人暮らし世帯訪問」を実施し、適切な支援に繋げていきます。また、タイムリーな情報提供を行うことで、市民の安全安心の確保に努めます。

・「子育て支援ネットワーク委員会」及び個別案件については引き続き、それぞれの役割を果たしながら、継続していきます。

(3) 明るく元気なあいさつの励行

- ・市民との心の距離を縮めるアイテムです。引き続き積極的な声掛けを励行し、明るく元気な地域局を全員で築きたい。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1) 地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進

・プール等解体事業、多目的広場駐車場新設工事、子どもの広場トイレ新設工事については完了に至っている。

・しかしながら、プール等解体時にプール本体の下から大量の湧水が出た。原因は山からの絞り水、プールの排水管の損傷に溜まった水が考えられる。当初この湧水は想定されていなかったため、湧水対策に追加工事が必要となった。この工事が追加することにより、本体工事の期間が非常にタイトになるものと思われる。

(2) 市民協働による地域見守りネットワークの構築

・徘徊見守り訓練については、認知症の方を地域みんなで支える取り組みとして実施している。(10/29八沢木地区)徘徊役の方への声掛けの体験を通して認知症への理解を深めることにより、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指している。しかしながら、年々参加者が減少しているため、参加の呼びかけ方を含めての検討も必要である。

・高齢者一人暮らし訪問についても、一人暮らしの近況を把握し、それぞれ必要とされるサービスの提供の場としても継続したい。

(11/18～22 137世帯)

・子育て支援ネットワークについては、2～3か月に1回のペースで情報交換を行っており、ケース検討会も随時開催するなど軌道に乗って進んでおります。

(3) 明るく元気なあいさつの励行

・明るい職場環境が市民サービス充実の基本と捉え、引き続き職員一丸となって市民の皆様に親しまれる地域局を目指したい。そのためには、まずは職員同士が明るく元気なあいさつを励行し、活気ある職場の雰囲気を出さなければならない。積極的な声掛け・あいさつは地域局全体で取り組んでいかなければならず、引き続き次年度においても、継続していきたい。